

新たに編成された委員会で、議論をスタート!

小金井市議会では、委員会において自己の考えを自由に表明でき、活発な審査を行っています。改選後、市議会は、3種の常任委員会、議会運営委員会、新たな3種の特別委員会等の委員を選任し、議論を始動させました。新しい任期のスタートに当たり、各委員長・座長から、委員会を紹介していただきました。

常任委員会・議会運営委員会

総務企画委員会

通称 **ソウキ**

総務企画委員会は総合企画・財政・税務・消防など幅広い分野を所管しますが、今年度より地域防災計画、産業振興プランという市にとって重要な計画が改定されることに併せて、特に防災、産業振興を調査の柱として集中して議論を深めていく予定です。2年間の調査の成果をしっかりと示しできるように取り組んでまいります。



厚生文教委員会

通称 **コウブン**

今期の厚生文教委員会では、調査項目として市民生活に関わる3本を柱立てし、集中的に審議していきます。

①新型コロナウイルス感染症対策に関する諸問題の調査、②小金井市保健福祉総合計画に関する諸問題の調査、③子ども施策に関する諸問題の調査を行います。委員会のご協力を仰ぎながら市民福祉の向上に資するよう努力していきます。



建設環境委員会

通称 **ケンカン**

建設環境委員会は調査の柱として、①駅周辺整備に関する調査、②市内都市計画、自然環境及び住環境に関する調査、③資源循環社会形成に関する調査を決めました。この3つは前任期と同じ内容になっています。

市民の関心が高い自然、緑、公園、道路を始めとしたまちづくりやごみ・資源などの分野で、市民の声が反映できるよう議論をしていきます。



議会運営委員会

通称 **ギウン**

議会運営委員会は調査の柱を①議会改革について、②議会基本条例について、③災害時における議会活動について（BCP等）と決めました。前任期から申し送られた「議会の広報活動及び広聴活動について」も引き続き調査することとしました。各党派・議員の意見を尊重し、市民に開かれ多様な意見をくみ取る努力とともに、市民の負託に応える議会の更なる充実に努力したいと思います。



特別委員会

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

新庁舎と（仮称）新福祉会館建設について、また学校施設を含むあらゆる公共施設の多機能化や資産・施設の有効活用など、これまでの常識にとらわれずに、今後市が着実に取り組める課題の整理と体制・環境づくりの議論を行います。

行財政改革推進調査特別委員会

前期の事務事業評価の学習・検討をいかし、今期の調査の柱である①行政評価等自治体経営について、②公民連携の推進について、③自治体DX等市役所改革について取り組み、推進の成果を残したいと思います。

基本構想審査特別委員会

10年に一度、市の最上位計画として策定されるのが基本構想で、議長を除く23人の議員で委員会を構成します。2020年度の議決予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のため延期となり、8月2日から本格的な審議が始まりました。

その他

新庁舎建設における議会施設の在り方検討会

新庁舎には議会施設が設置されることとなっています。現在の議員の都合だけでなく、将来的に在るべき姿を検討していきます。本会議場や委員会室の配置や形状だけでなく、将来を見据えたICTの在り方や計画も検討しています。

広報協議会

議会基本条例の施行を受けて設置された協議会です。住民の皆様に正確な情報をお届けし、議会と市政に対し、より関心を高めていただけるよう、市議会だよりやホームページなどを活用した広報活動の充実に努めてまいります。

原稿は議員が作成しております

次の定例会は令和3年8月30日(月)開会予定です。